

WEAPON

ウエポン

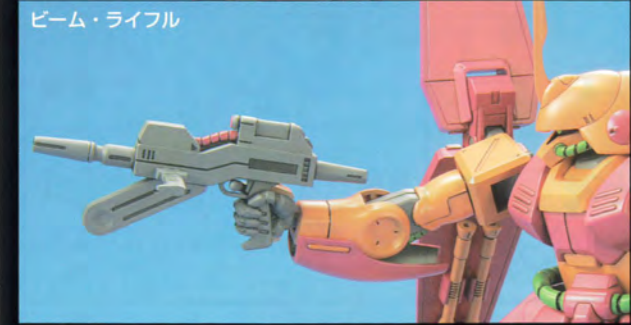
DETAIL

各部ディテール

ビーム・サーベル



ビーム・ライフル



RMS-108 'MARASAI'

E.F.S.F. MASS PRODUCTIVE ATTACK USE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RMS-108
 TOTAL HEIGHT : 20.5m
 WEIGHT : 33.1t
 TOTAL WEIGHT : 59.4t
 GENERATOR OUTPUT : 1790kw
 MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY
 ARMAMENTS : 60mmVULCAN
 BEAM SABER
 BEAM RIFLE

**ACTION**

アクションポーズ REAR VIEW

リアビュー

**COLOR GUIDE**

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- 頭部、腕部、脚部等：

 ホワイト (50%)
 +イエロー (30%)
 +レッド (20%)
 ※または、ガンダムカラー
 オレンジ3
- 胸部、スカート等：

 レッドブラウン (80%)
 +イエロー (10%)
 +ホワイト (10%)
 ※または、ガンダムカラー
 レッド8
- 動力パイプ：

 イエローグリーン (70%)
 +ブルー (20%)
 +ホワイト (10%)
- 関節部、武器等：

 グレー (70%)
 +ブルーグレー (20%)
 +ブラック (10%)
 ※または、ガンダムカラー
 グレー18
- ライフルセンサー：

 蛍光ピンク (100%)

1/144 SCALE
HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2005 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は、塗装してあります。

0132169



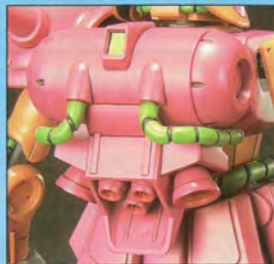
RMS-108 "MARASAI"

「マラサイ」は、AE（アナハイム・エレクトロニクス）社が開発したハイザックの発展機である。連邦軍が採用したハイザックは、基本性能こそ高かったもののジェネレーター出力が低く、ビーム兵器は一基しかドライブできなかった。例えば、ビーム・ライフルを使用するには斬撃系の武装はヒート・ホークを使うほかなく、逆にビーム・サーベルを使用する際にはザク・マシンガン改などの炸薬系の銃器を使う他なかったのだ。一年戦争時にはビーム兵器を一基だけドライブできても戦力として十分だったものが、U.C.0080年代後半には、すでにそのような段階を乗り越えてしまっていたのである。そこで、ハイザックの高い生産性と操作性を継承しつつ、さらに高性能な機体として開発されたのがマラサイである。ハイザックと比較して大出力のジェネレーターを装備することでエネルギー

供給能力が向上しており、ビーム・ライフルとビーム・サーベルを同時に使用することも可能となった。また、装甲材にはガンダリウム合金が使用され、各部の構造もハイザックの量産によって得られたノウハウが活用されており、汎用性に優れしかも操縦しやすいという非常に優秀な機体となった。ただし、時の流れはマラサイに正当な評価を下すことはなかった。なぜなら、当時は極端な大火力兵器や可変機が偏重されており、フラッグシップ機と量産機の運用目的が極端に差別化されていたからである。つまり、エゥーゴでは量産機の高性能化よりも、超高性能な決戦兵器が求められていたのである。むしろ、これにはエゥーゴの台所事情も関係していたといわれるが、極端な話、ゲリラ戦での量産機は旧式機でも充分であり、ただでさえエネモなどの連邦系MSがラインに乗っている時期に、公国軍の二の舞となる別系統の量産機を採用する必要はなかったのである。かくして、量産を前提とした試作機、あるいは先行量産機がある程度生産された段階で、AEの政治的な判断によりティターンズに引き渡され、ある意味、使い潰されるような運用に供されることとなった。かようにマラサイは不遇のMSではあるが、関係者による評価は高く「至極まっとうな傑作機」として後にネオ・ジオンでも使われるほどの機体となったのだ。

頭部ユニット

後頭部とネックジョイント、パワーサプライヤーなどを保護する兜の殻（しころ〜「殻」とも書く〜）のような構造が特徴。また、側頭部の左右に60mmバルカンを装備している。



バックパック

大容量のプロペラントタンクとパーニア、センサー類が一体化されており、性能はもとより整備性も高い。構造的に本体とは独立しており、バックパックの換装などにも配慮された構造となっている。

コクピット

リニアシートおよび360°全天周モニターを装備した標準的な球形コクピットを採用している。他の機体と同様、脱出ポッドとしても機能する。

脚部ユニット

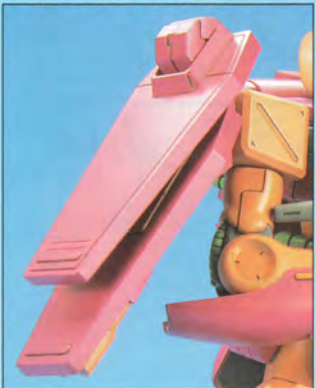
小型高性能のパーニアユニットを内装しており、短時間ながら重力下においてもホバー走行が可能。月面などであれば、恒常的に使用でき、高速戦闘を展開することができる。

ビーム・ライフル

ハイザック用に開発されたものの同等品。本体からのエネルギー供給量に余裕があるため、通常の運用であれば複数のエネルギーカートリッジを携帯する必要がないため、専用の収納スペースは装備されていない。

シールド

大きな2枚のブロックから構成される大型の防御装備。肩のジョイント部分を中心に二つ折りできる構造となっており、フレキシブルな運用が可能。裏面に2本のビーム・サーベルユニットを装備できる。



ビーム・サーベル

柄の部分が標準的なものより長い新設計のサーベルユニット。ゲルググのビーム・ナギナタ用のユニットの発展型で、規格の合う機体なら使用できるが、ほぼマラサイ専用のユニットとなっている。



SPEC

型式番号: RMS-108
全高: 20.5m
本体重量: 33.1t
全備重量: 59.4t
ジェネレーター出力: 1790kw
装甲材質: ガンダリウム合金
武装: 頭部バルカン砲
ビーム・サーベル
ビーム・ライフル

RMS-108 マラサイ

RMS-108「マラサイ」は、TVシリーズ「機動戦士Zガンダム」および劇場版「機動戦士Zガンダム 星を継ぐ者」に登場する攻撃型MSである。U.C.0087年4月21日。ティターンズのアーガマ追撃艦隊旗艦アレキサンドリアは、アーガマを追って月のAE社を訪れた。ティターンズは、AEがエゥーゴを支援していると疑っていた。その矛先をかわすため、AE会長のメラニー・ヒュー・カーバインは、艦の補給とマラサイの無償供与を申し出る。一方、月の裏側のアンマンでは、アーガマをはじめとするエゥーゴの部隊が「艦の調達」も含め、ジャブロー攻撃に向けて準備を進めていた。「ジャマイカン」はマラサイのテストを兼ねた出撃なら許してくれると言っている。「オレに?」過日の失態で謹慎の身のジェリドは、アレキサンドリアのアンマン襲撃と連携してアーガマのMS部隊を急襲するというカクリコンの申し出に乗ることにした。「ティターンズを外されちゃ、ライラに対して申し訳が立たないもんなあ」「カクリコン、ガンダムMk-IIが見えた!」「モビルスーツが入った? 新型か?」迎撃に出たカミーユは、見慣れぬ赤い機体に眉をしかめる。「ターンが速い! やはり新型か!?!」新型MSの息の合った時間差の連携にカミーユは窮地に陥る!

CG Work by YUJI KONNO (Jam)



RMS-108 MARASAI (マラサイ)

デザインワークス(コンセプトデザイン: カトキハジメ)



Illustrated by BEE-CRAFT

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

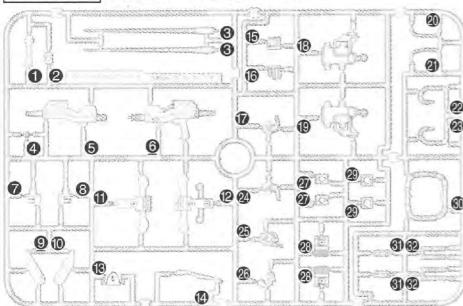
注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

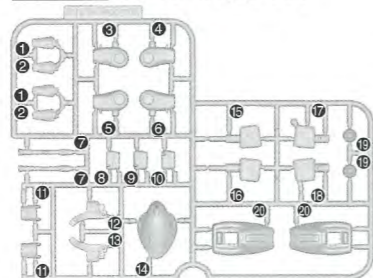
・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように確かめます

パーツリスト

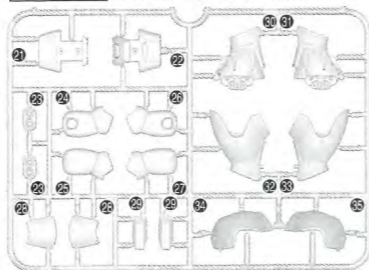
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



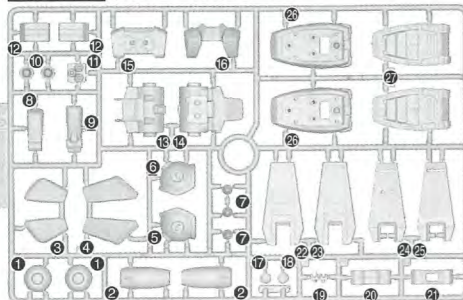
B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



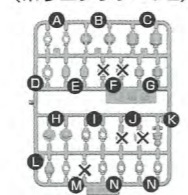
B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



<PC-123プラス>
(ポリエチレン: PE)



●シール……………1

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

1

PCG A8 A7

2

※シールは組み立てる前に貼ります。

A13 (シール) (先に貼る)
B12・B13 (シール) (選んで取り付ける)
A21 (向きに注意)
A20 (向きに注意)

3

A5・A6 A4 A1 (向きに注意)

4

B18 B16 A29 PCE

5

A31 (向きに注意) A27 PCN B6 B4 PCH (向きに注意)

6

C22 C25 C23 C24 C20 C19

※イラストの様に指で押さえながら取り付けます。

7

6 4 B11 (向きに注意) 5

8

C6 PCL C5 C7 (向きに注意) B15 B17 B11 (向きに注意) B6 PCN B4 PCH (向きに注意) A27 A31 (向きに注意) A24 B10 A16

※肩アーマーは向きに注意して取り付けます。

9

C14 (後に組む)
 ! C11 (向きに注意)
 C18
 ! C1 (向きに注意)
 C10
 A22 (シール)
 A23

10

2 で作った頭部
 7 で作った右腕
 9 で作ったバックパック
 1 で作ったボディ
 8 で作った左腕
 B7
 A3
 A17
 B8
 A15
 B9
 A25
 A26
 3 で作ったビームライフル
 (通んで取り付ける)
 (通んで取り付ける)

11

PCN
 A12
 PCO
 A11
 PCN
 A30 (向きに注意)
 C9
 C3

12

C4
 C8
 C9
 C3
 ※C9を取り付ける位置に注意します。
 ※C4を取り付ける位置に注意します。

12
 ×2
 2個作る

PCC
 B20
 C26
 C27

13

PCA
 B32
 B30
 A18
 B23
 B29

14

(後に組む)
 B35
 B2
 B1
 B28
 B10

15

B25
 PCB
 B24
 PC1 (向きに注意)
 A28
 A32
 14
 12

18

B27
 PCB
 B26
 PC1 (向きに注意)
 A32
 A28
 17
 12

19

C12
 11 で作った腰部
 15 で作った右脚
 18 で作った左脚

16

PCA
 B33
 A10
 B31
 B29
 B23

20

10
 19

17

16 (後に組む)
 B1
 B34
 B2
 B28